

令和3年度 学校経営の構想

(1) 学校教育目標

心豊かでたくましい子どもの育成

(2) 経営の信条

□ 教育は人なり（教職員）

教育の原点は人づくりにあることを自覚し、不易と流行を見極めながら自己研鑽と協働に努め、職務を遂行する。

□ 凡事徹底（教職員・児童）

互いに認め、共に伸びていくために、当たり前が当たり前ができるようにする。

(3) 学校経営の具体

【めざす子ども像】

○ 進んで学ぶ子 ○ 正しく判断し自他を大切にできる子 ○ たくましく粘り強い子

≡ ≡ ≡ (校訓) なおく おおしく うるわしく ≡ ≡ ≡

確かな学力づくり	豊かな心づくり	健やかな体づくり
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学ぶ楽しさ、分かる喜びが実感できる授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン化（「焦点」「視覚」「共有」化・個別支援） ・価値ある「対話・かかわり」 ○ 基礎学力の確実な定着 <ul style="list-style-type: none"> ・学習規律と学習習慣の確立 「学び・教えの名人」の活用 「聴く」ことの徹底（日常へ） ・個別指導と補充指導（ドリルタイム・生き生き学習） ○ 学びの日常化・風土づくり <ul style="list-style-type: none"> ・大名人（百人一首・インド式丸）に挑戦 ・読書活動の推進 ○ 情報教育の推進（ICTの日常化・効果的活用の工夫） <ul style="list-style-type: none"> 教育の情報化推進モデル校事業 R4度 三観小研メディア研究発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活行動習慣の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・「挨拶と返事」、「廊下歩行」 ・自問清掃の充実 ○ 道徳・人権教育を基盤としたなかまづくり・絆づくり <ul style="list-style-type: none"> ・全校縦割り活動や異学年交流の推進 ・リーグ・シップ・フォロー・シップの育成 ・居心地のよい学級づくり ・よさや頑張りを認め、称賛する雰囲気作り ○ かがやき学習の確実な実施 ○ 教育相談活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な情報交換と全教職員による共有・共通行動 ・SC、SSWの有効活用 ・「いじめアンケート」の活用による早期発見・早期対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動の日常化 <ul style="list-style-type: none"> ・「外遊び」と「歩いて登下校」の奨励（『青空タイム』推進） ・時季に応じた谷っ子タイム（リレー・ローテ運動・縄跳等） ・放課後特別練習への参加の奨励と指導体制の整備 ○ 基本的な生活良習慣づくり <ul style="list-style-type: none"> ・『ノーゲーム・ノースマホ』の推進 ・良生活リズム「早寝・早起き朝ご飯」づくり ○ 危険予測・回避能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や防災教育の充実 ○ 健康づくりの意識付け <ul style="list-style-type: none"> ・「出席率99.0%」及び「全校欠席ゼロ20日」以上の達成 ・保護者啓発（保健便り・学校保健員会の開催等）
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 特別支援教育を基盤とした学校・学級づくりの推進（インクルーシブ教育） <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の弾力的、組織的運営（要場所づくり） ・特別な支援を必要とする児童・学級への校内支援体制の構築（チーム支援） ◇ 教職員の協働 [チーム一ノ谷] <ul style="list-style-type: none"> ・風通しのよい職場環境づくりと共通理解に基づく組織としての対応 ・「報・連・相」による情報の即時共有と共通理解・共通行動 ◇ 家庭や地域、異校種との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・「学校運営協議会」及び「地域学校共同活動」発足による『地域とともにある学校』の推進 ・「一ノ谷教育支援会」との連携・協力による地域の教育力の活用（「芝生広場」を要にして） ・学校評価（自己・外部）の積極的活用 ・各種お便り等による広報活動「学校だより・支援会だより・PTA新聞・HP等」 ・幼保小中連携（接続）の推進・充実 ◇ 教職員の心身両面での健康維持 [働き方改革の推進] <ul style="list-style-type: none"> ・業務の適正化・効率化・明確化（時間を生み出す工夫） ・意識改革の推進（タイムマネージメント：時間管理） 『ノー残業デー』（水曜日）、時間外勤務時間の上限目標の設定[月45h、年間360h]等 		